

令和 8 年中標津町議会 9 月定例会 一般質問要旨

通告	質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を 求める者
1	2番 阿部 沙希 あべ さき	子どもの発達・こころの専門医療体制について	
		1) 専門医療の需要・現状把握を	町 長
		子どもの発達やこころの専門医療は、必要なときにすぐ受けられているのか。受診先や待期期間、長距離通院の実態と、町外の医療機能が将来縮小した場合も見据え、地域の需要と受診先の現状を把握し、次の受け皿を整える考えは？	
		2) 地域における専門医療体制を	町 長
		専門医を常勤で確保できなくても、できることはある。町立病院の小児科を守りながら、外部専門医や大学、北海道、管内自治体とも連携し、子どもの発達とこころを診る医療機能を地域で確保する方法を具体的に探る考えは？	
	3) 今後の専門医療体制整備を	町 長	
	発達の課題に早く気づいても、その先に診てもらえる医療がなければ支援は止まる。必要なときにすぐ次へつながれる町にするため、令和8年度中に調査・協議を始め、令和9年度以降の体制整備につなげる考えは？		
2	11番 江口 智子 えぐち ともこ	子宮頸がん予防対策の取り組み強化を	
		1) HPVワクチン接種の実態は	町 長
		本町の令和4年度から令和6年度までのHPVワクチン接種率について、対象者数、接種者数、接種率の推移は？また、本町は北海道他自治体と比較し、どの程度の水準にあるのか？	
		2) 子宮がん検診の実態は	町 長
		2年に一度推奨される検診の対象者数、受診者数、受診率の推移は？また、本町は北海道他自治体と比較し、どの程度の水準にあるのか？	
3) 子宮頸がん予防意識の向上を	町 長		
北海道全体のHPVワクチン接種率が全国46位であることを踏まえ、現在の周知・勧奨で十分と考えるか？あるいは接種率・受診率を引き上げる新たなアクションを検討する考えは？			
3	5番 平山 光生 ひらやま ひろみ	1 町内会加入率向上に向けた専門家活用を	
		令和5年に町内会加入率の低下について専門家の活用を提案し、町は早期に対応したい考えを示していたが、実現していない。国や道の制度も活用し、専門家と町内会が課題解決に取り組む伴走支援を実施すべきでは？	町 長

令和 8 年中標津町議会 9 月定例会 一般質問要旨

通告	質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を 求める者
4	15 番 まつむら やすひろ 松村 康弘	1 地熱発電の調査に名乗りを	町 長
		気候変動が深刻化しCO2削減が急務であるが、電力は石炭依存が続く。国が地熱発電実用化に力を入れる中、太陽光・風力は立地に限界である。掘削汚泥で中止した試掘経験も踏まえ、当町が地熱フロンティア等に名のりを上げ、調査・掘削を主体的に行い、環境配慮でバイナリー含む地熱発電実現へ官民で進める考えは？	
		2 選択と集中を司れる人材を育成するために	町 長
		国の地域未来交付金は地域特性を最大限生かす取組を計画から実施まで後押しする制度であるが、自主性と創意工夫なくして交付は得られない。『地域づくりは人づくり』の観点から、地域活性化センターの派遣研修（地方創生大学校）へ若手職員2名を2年間出向させ、実践ノウハウと全国ネットワークを得る方針は？	
5	3 番 くりす ようすけ 栗栖 陽介	地域内経済循環の強化に向けた産業連関表の戦略的活用について	町 長
		1) 地域内経済循環を支える一人ひとりの選択を	
		産業連関表から、本町では町外への資金流出が19億円に上る一方、畜産食料品は高い経済波及効果を持つことが示されている。町内消費を増やす意義を、月1,000円の地元購入による波及効果など具体的な数字で試算し、町民に分かりやすく示して、日々の買い物から地域内経済循環を高める取組につなげる考えは？	町 長
		2) 「乳製品の聖地」からふるさと納税につなぐ人材育成を	
		産業連関表が示す乳製品の高い経済波及効果を生かし、本町を「乳製品の聖地」として発信するとともに、乳製品の魅力や酪農の背景を語れる「なかしべつ乳製品マイスター」を育成し、観光、食育、商品開発、ふるさと納税の拡大へつなげる取組を進める考えは？	町 長
		3) 地域ブランド力を上げる戦略を	
		格子状防風林の「見えない」価値を、開陽台での衛星画像やAR、グリッドウォークなどで可視化し、酪農・乳製品と結びつけた観光資源へ育て、さらに「海に鮭、台地に乳」の広域周遊へ展開し、管内唯一の空港を有する本町の強みを生かして、地域ブランド戦略を進める考えは？	